



実用新案登録願

昭和53年4月11日

特 許 庁 長 官

熊谷善二



- 考案の名称ジャウシャ ザアツチョウセイソウチ 自動車シートにおける廃田部階設置
- 2. 考 粢 所 神奈川県鎌倉市智ノ下/ーを一2 フリカナ スギ **ウラ** 氏 名 杉 浦 タカシ
- ホ ドガヤ ク ヒガシカワシマチョウ 実用新案登録出願人 3. フリヤナ神奈川縣枠(政市保土ケ谷区東川島町/省地の3 住 所 池 会 注 フリガナ 氏 名(名称) 化五者 池 出 (国 籍)
- 電 代 理 人一一 4.

所 東京都渋谷区代々木1丁目3: 当2号 ミニタビル301号 電話 (379) 5308 名 介理上 (7882) 增田 竹 氏

添付書類の目録 5.

(1) 明 細 告 1 通

出願第二課 (3) 顯壽副本 1 逝 (5世原蘇奎部水普

(2) 図 (4) 委任 状 1通 54-151609

面. 1通

53 047430





斑! 網 選

1. お客の名称

自動車シートにおける摩圧顕整裝置

- 2 奥用新家登録計歩の動作
 - シートフレーム内に付置する事故体をシートフレームに取付けられた事物の支持ければ で引端支持し、これら支柱にね出の一幅が取付けられたシートフレームの制御に上昇及び 下降する一対の外降料線を動物し、これら昇 締約機に削削支持はおおのうちだ右対称の少 なくとも一刻の支持におのに発表に付けたことを始勢とする目動車シートにおける唯肥調 総数量。
 - 2 昇降機能を、シートフレームに回動可能に 取付けられた時間アームと、一端をシートフ レームに回廊可能に連結されかつ他勢を回動 アームに連結された昇降ロッドと、印記回動 アームの下がに形成された長孔に滑動可能か つ回動可能に取付けられる送りナットと、こ

分開実用 昭和54-11609

の送りナットに形成されためねじに邸合しか つ師・向に移動不能に設けた部間ロッドとか ら機成し、前副昇降ロッドに支持ばねの他端 を取付け、静節ロッドの回転により送りナッ トを介して回動アームを回動させ昇降ロッド の昇降を殴るようにしたことを勧めとする実 田新安時部束の範囲第7項配額の目如車シ ートにおける歴圧輝撃特件。

3. 考案の詳細な計画

との考案は自動用シートにおける原圧離整 機能に関する。

自利車シートにおけるシートの座丘は測転時の疲労に強大を関係を有し、これの適切を 耐彫、設定は安全部転のための大きい因子と 考えられている。

との考察けどのような事情に構みてなされたものであつて、自動車シートにおけるシートの内圧を容易にかつ確実に誤撃することができると共に、選帳者のヒツブを左右から抱

えるように保持し、高速時のコーナリングにおいても運転者を除席に解棄に固定保持できる新規を座正調整装置を指供するものである。次に既についてこの考案の一隻解例を説明しよう。単ノ図において1はシートフレームとの内側にはから支持は和群3の方ち、少なくとも左右対称ノスの支持は和よの方ち、少なくとも左右対称ノスの支持は和よの方ち、少なくとも左右対称ノスの支持は和よっちではなく、昇降器がラレーム1の周縁からではなく、昇降器がラレーム1の周縁からではなく、昇降器がある。

昇降原標 5 としては、阿藤を折曲した丸体から成る昇降ロッド 5 1 を用い、このこのロッド 5 1 の一幅 5 1 a をシートフレーム 1 に 回動可能に連結し、他編をシートフレーム 1 に対して回動可能を回動アーム 5 に連結してある。昇降ロッド 5 1 の一端 5 1 a は、シー

トフレーム 1 の前方側両脇に発散された孔(悩滞せず) に挿入しておくだけでも良い。前 | 切れ、 |新|||千アーム611、シートフレーム1の後方 側(背もたれ部取付側)両際にヒンジ軸でに よつて回転可能に2個取付けられている。と の回動アームもの上端に前世昇降ロッド51 の伊賀が連絡されている。また、同様アニム りの下対部に長孔61が形成され、この長孔 61に滑町可能かつ回晒可能に送りナット8か 取付けられる。この送りナツトをに付、後述 する測飾ロッド9に形成されたわじ9A(9 B)が総合するめねじ81が形成されている o 斟願ロッド9は、シートフレーム1の後方 他に問着されたプラケット10に回転可能に 、しかし朝方向に移動不能に取付けられてい る。この癖能ロッド9の遊りナット8との係 A部には、互いに通ねじ9A、9Bが形成さ れており、したがつ(触部に影けられた調節 つまみ11による朝節ロッド9の間転によっ

て、左右の回転アーム 0、 0の上端部は丘い に近接または瞬隔する方向に回動するのである。

制動アーム6、6のこのようを回動部別の 結果、昇降ロッド51、51 パシートフレー ム1に対し、無1 図の矢間のように左右に即 関すると何時に廃板体2の間に対して上下に 昇降する形の回動御動を行なうことになる。 無3 段を参配してわかるように、昇降ロッド 51 が座板体2の間に対して角αをなすよう 上昇したとすれば支持ばね4の上下方向のは お定数 2 2 - k B 1 ロ α (k: ばね定数) で 表わされるから、αか歩大するほど阻比とし で属する力は歩大するのである。

3字加入

との実施例においてはまた、左右の昇降ロッド51、51の上昇は運転者のピップを向側からはさみとみ、これを確実に保持する作用をなすことは第1図から明白でいる。

なお、昇降樹松5としてけ、第4関に示す

公開実用 昭和54-1160S

ようなラック12に協新された櫛椰52を出いることもでき、このラック12はケース13内に収められたピニオン(陰示せず)の回転により昇降する。ピニオンの回転軸14の先輩につまみ15を散け、このつまみ15の機作により陰示しないピニオンを回転させるようになつている。

たおすた、然与図に示すようにピニオン16の元右にラック121、122を削し、これらラック121、122の上郷に様保52、52を開発し、ピニオン16の開転配にハンドル17を取付けても良い。このようにすれば、極級52、52にそれぞれ版付けられた支持はねのうちいすれか一方を選択的に上昇させることができる。

以上説明したように、本考案によれば、(1)シート降圧を個人の好みに合わせて超彩できる。(1)シート前圧を部分的に変化させて超新的なうつ面を防止し長時間の着座に

対して疲労療を少なくできる。 (目) 将構が 関連でスペースをとらない、などの効果を有 する。また、割1 関をいし第3 関に示す実施 側に限れば (N) ねじゃか式なので勧齢暫が できる。 (V) 昇降ロッドによるヒップの強 寒を保持ができ降沫コーナリングに隠して安 全であるなどの効果もある。

4 四四の報母を影問

第1隊はこの考案の一次節刊を示す所得的、第2回は同門アーム部を示す拡大期間的、第3回は支持はねの節組による際田変化を説明するための瞬間、第4回は早降機構の変形例を示す部分的測視的、第5回は昇降機構の他の変形例を示す正面的である。

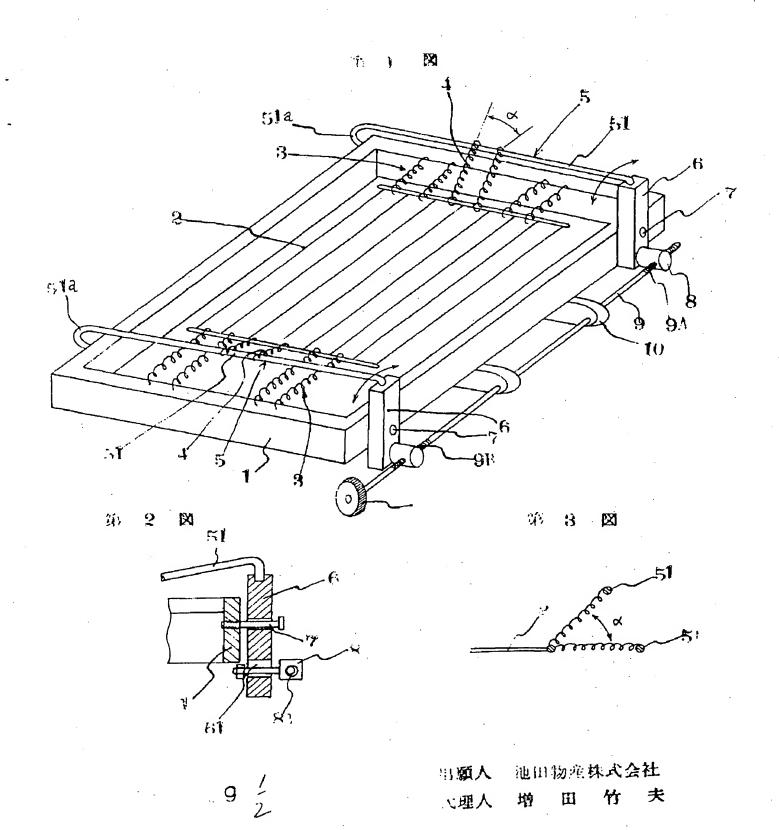
1・・・・シートフレーム、 2・・・ 勝む体、

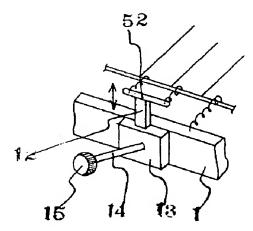
3・・・ 支持ばわ影、 4・・・ 支持ばね、

5・・・ 弁降器師の

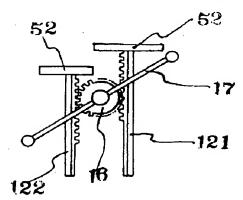
用戶人 剂 田 物 產 株 式 会 社 代刑人 弁理士 塩 田 竹 夫

公開実用 昭和54-151609





第 5 図



出願人 池田物意株式会社 六型人 增 田 竹 夫

9 3 2

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

DEFENT OF ATTOR POTTOM OF SIDES

M-IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.